

ピンチヒッター・モリモトの中国通信

## 時代は〇〇食です！？



**いつもお世話になります。**

7月上旬に厦門に行ったところ、大阪よりいくぶん涼しいくらいの気候でした。今回もホヤホヤの情報をお届けできればと思います。

なお今回のメルマガ、個人差はあると思いますが、若干グロテスクと感じられる内容も含まれておりますので、「**奇食・珍食**」のたぐいに抵抗のある方は、サラッと後半部分を読み飛ばして頂ければと存じます。

## ① 環境問題と厦門サミット関連について

最近のメルマガでも連続して取り上げていますが、環境問題の続報です。

ゴールデンウィーク(中国ではメーデーも含めて“黄金週”といいます)から1か月、北京より派遣された中央政府の役人が福建省各地に陣取り、あれこれ調べた上で、怒涛のように去っていきました。

その調査の“成果”は、地方政府のHP上で公布されているのですが、この一連の環境保護政策は石材業界だけに止まらず、たとえば畜産業やホテル・レストラン、製紙工場、石油化学工場など幅広い業界で取り調べを受けていたのが、このHPから分かります。興味深いところでは、“**広場舞**”というのをご存知でしょうか？(主に)おばさま達が朝夕、公園に集まってカラオケに合わせてダンスで楽しむのを、テレビなどで見かけられた方もいらっしゃると思います。あれを中国語で“**広場舞**”と言いますが、「騒音」の項目で、今回の規制対象になっていたようです。この一例からも、政府が環境に対する世論に対して、徐々に敏感になってきているのが見てとれます。

さて、石材業界はどう変わったのでしょうか？工場の稼働を止めたり、ある地域の石材工場が全て閉鎖になったりという情報をお聞き及びの方も多数いらっしゃると思いますが、実際のところ多少の影響は受けながらも、「**とまあえず様子見**」というのが現在の状況になります。

本来ならば今回の調査期間でなんらかの環境基準を打ち出せばよかったのですが、おそらく今回は知見集めが主目的で、ルール策定は次回以降だろう、というのが各工場の見通しとなっています。

このメルマガでも何度か、『**上に政策あれば、下に対策あり**』という中国の成語を紹介してきましたが、『**上から政策出ないので、手の打ちようがないよ**』というのが現在の工場の意見であります。その代わりいざという時のために、集塵機やスプリンクラーの値段や性能を調べている、そんな段階です。

廈門サミットにしても同様に、政府は「市民に迷惑はかけない。期間中も工場や道路は封鎖しない」と宣伝しているものの、現場の人々は半信半疑、いつ突発的なおふれが出るか分からないので、我々と一緒に廈門港が封鎖された場合の対処方法を検討している状況です。

## **憶測を含めて、サミット関連の話をまとめると・・・**

- ・ サミット開催日の 9/3～9/5 と前後一週間は、廈門港は封鎖される可能性が高い
- ・ 周辺の港(福州や海滄)もキャパの問題で、100%は受け入れが困難だろう
- ・ 既に全国から公安が集められているので、ホテルの空き室少なくなっている。  
またホテル、駅、バス停などの警備が非常に厳しくなっている。

**毎年9月8日に廈門で開かれる交易会も、サミットの影響で9月末に延期される**そうですので、もし出張を検討されている場合でも、**10月以降に計画された方が**いいと思います。また新しい情報ありましたら、追って報告いたします。

## **② 時代はムシ食！**

このサブタイトルで、サー……っと引かれているのを感じます。今回、新しい素材を見に行くために中国の内陸の方まで足を伸ばしてきたのですが、久しぶりに出会いました。

・・・唐揚げです。セミさんもイナゴさんも、初めて見るわけでもなく、ましてや  
キャーキャー言う年頃でもないのに、出されたものは粛々と食す  
わけでありました。(泣・・・)

・・・しかし、これが意外とうまい！ うまいのです！！ニンニク醤油をちょっと  
付けながら頂くと、極上のアテなのであります。イナゴさんは癖がなくてまるでエビ  
の唐揚げ、セミさんはちょっと癖あるので中級者向けです。



※いろいろ忖度して、小さめの写真でお届けします。

キャッシュレスやシェアエコ/ミーなどデジタル分野で先走る中国と、昔の虫食が  
残る中国、改めて奥深いなあ、と感じずにはおれませんでした。

帰国後、謎の腹痛に悩まされたのはムシのせいではないと主張しつつ、また来月も  
宜しく願いいたします。

2017/8/1 森本